

平成25年度 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会  
議事要旨

1. 開催日時 平成25年11月28日(木) 13:30~15:15

2. 場所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室

3. 出席者 [委員] 帯野委員、斎藤委員、田辺委員、戸田委員、  
中瀬委員、植松特別委員  
[弊社] 石塚社長、酒井専務、奥平常務、牧浦常務 他

4. 議 事

➤ 下記の区間に関する事後評価、再評価について審議

《事後評価1区間》

・東九州自動車道(津久見~佐伯)

➤ 対応方針(案)については了承

《再評価1区間》

・中国横断自動車道姫路鳥取線(播磨新宮~山崎JCT)

➤ 対応方針(原案)については了承

➤ 主な意見

<事後評価・東九州自動車道(津久見~佐伯)>

- ・九州は西側に比べ東側は道路整備が遅れていることもあって発展してこなかった。道路が地域住民にもたらす効果は非常に大きいと感じており、東九州道の早期の全線開通を切に願う。
- ・交通事故について、平日・休日別に分析し、休日が増加しているか否かについても調べたらどうか。
- ・観光について、高速道路が開通した当初は伸びるが、その後徐々に落ち込んでいく傾向にあるため、いかに下げ止まるようにするかが重要な課題である。今後の動向にも注視して欲しい。
- ・近年、集中豪雨等による災害が多く発生しており、高速道路の重要性というものを身にしみて実感している。
- ・最近建設された道路と、過去に建設された道路とでは強度的に異なるものなのか。  
基本的に、その当時においての最新の知見、データ等に基づき建設されています。過去のデータや車両の重量化など外的要因の変化等を考慮して現在の基準がつくられており、現在の基準の方がより配慮されたものになっていると言えます。(事務局回答)

- ・事業費が削減できた理由を教えてください。  
主に橋梁の設計・施工の見直し、料金所位置の見直し等により事業費が削減できました。(事務局回答)
- ・企業立地の件で、佐伯 IC 以南が今後無料で開通した場合、無料区間の沿線に立地していくということは考えられないか。地元はその辺りを見込んで計画しているのか。  
佐伯市周辺の地形や土地利用の状況から判断しても、有料、無料にあまり影響されないと考えられます。(事務局回答)
- ・国の政策レベルの意見になるが、高速道路の有料区間と無料区間が交互に存在するというのは、利用者からすれば非常にわかりにくい。例えば九州であれば、九州横断自動車道が無料で整備された場合、交通の流れが変わってしまうのではないかと考える。
- ・開通後、交通量が4割増加して7,600台/日になったという説明であるが、この数字をどのように捉えているのか。開通前はどの程度を予測していたのか。また、将来どの程度の交通量を見込んでいるのか。  
7,600台/日については、一般道も含めた全体交通量の約4割に相当するため、整備効果は大きいと考えております。これは、開通前の想定していた交通量とほぼ同程度です。将来的には約9,700台/日を見込んでおります。(事務局回答)
- ・救急医療について、消防本部にヒアリングしているが、具体的な事例を聞いた方がよりインパクトが強まると思う。そういう具体的な事例を広報すれば良いと考える。
- ・災害について、道路本体のみではなく、周辺からの災害という視点も含めた防災対策を考えるべきである。ただし、景観にも配慮する必要がある、その辺りのバランスが大切だと考える。
- ・東九州道の整備により、沿線地域間の幹線道路機能は非常に強くなると思われる。

#### <再評価・中国横断自動車道姫路鳥取線(播磨新宮～山崎JCT)>

- ・当該区間が整備されることで周辺道路の結びつきが強まり、災害時等におけるリダンダンシー機能が強化されると考えられる。
- ・当該区間のルートはなぜ東側に計画されたのか説明頂きたい。  
兵庫県によって都市計画されたルートであり、当時の経緯を確認したところ、西側(佐用JCTに繋がる)ルートに比べ、距離が短く経済的であること、保安林等に与える影響が少ないことなどが理由として挙げられていました。(事務局回答)
- ・暫定2車線の高速道路は交通安全上問題があると考えている。高速道路は本来4車線以上で整備されるべきものであり、整備に当たっては、やはり最初から4車線以上で計画すべきである。
- ・環境保全への取組みについては、現在実施している調査等を継続して実施して頂きたい。
- ・播磨新宮 IC 以北は雪が頻繁に降るため、凍結や積雪により一般道は走行しづらい。そういう面でも当該区間の整備効果は高いと思う。
- ・計画ルート沿線には貴重な動植物が存在しており、それらを活かした公園等を兵庫県で整備中である。当該区間の整備により、それらの利便性が高まると思われる。

以上